

六白金星

執筆..石川 享佑

一一〇二二五年九月七日～
一一〇二二五年十月七日の運勢

西に廻座して月建を背負う

今月の六白金星は七赤金星の本籍

地・西に廻座して月建を背負う。す

でに冒頭の全体運の章で述べたよう
に、今月は酉月で巳年と相まって金
局三合が成立する。そんなひと月に
あって、西の座に座る六白金星の背
負う役割は大きい。

さて、西という方位はよろこびの
方位であると学んだ。今月はよろこ
びのひと月である。ただし、よろこ
びというのは、無条件で手に入るも
のではない。

西は季節で言えば正秋。秋になれ

ば木々が実をつけ、稻は穂を垂れる。
秋の乾燥した空気は胃腸の働きを旺
盛にし、潤いをたっぷりと含んだ果
実がいつそう美味しく感じられる。

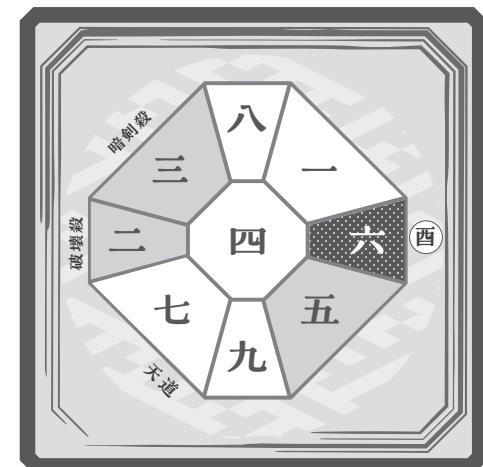
まさに「よろこび」にふさわしい季
節である。

しかし、そこに至るまでに、生

命はどれほどの精進をしてきたか。
木々は冬に種を膨らませ、春には土
の圧力に負けじと芽を地表へと昇ら
せ、夏には大いに花を咲かせ、虫に
蜜を与えては受粉をしてもらう。こ
うした木々の精進がなければ、秋に
果実は実らない。

人もまた、冬の寒さに耐え、春は
まだ寒さが残る中、活動を開始し、
夏には大いに働いて、ようやく秋に
なってお腹が空いてくるのだ。

つまり、ここに至るまで、不斷の
精進を続けたものだけが、秋の「よ
ろこび」を受け取ることができるの
だと思う。



六白金星は特にここ数ヶ月間は思
い通りにいかないことが多かった。
六月は風邪を引き、七月は意識と精
神が運動せず、八月は予想もしな
かつたようなアクシデントに驚かさ
れてばかりだった。

こうした数カ月間にあって、
めげずに、諦めずに、懸命に走り続
けた人だけに、今月の「実り」は用
意されている。

うちの妻も、八月はかなりきつ
かっただろうと予測する。福岡での
T・O・Eセミナーを終えて、関東
でのスクーリングのために福岡空港

に向かう。その際に線状降水帯の餌

食となり、フライト前にビタビタに
なり、道路には思わぬ段差があり転
んだ。何とか間に合って、手荷物検
査を通過したと思ったら、欠航にな
る。振替をして最終便に滑り込んだ

と思つたら、その便もまた欠航。翌

朝、始発便で東京に向かうものの、
一限にはどうしても間に合わない。

スクーリングは年に何度も欠席はその
場でアウトだ。しかも、この単位を
次に取れるチャンスがあるのは冬
で、そうなると実習に出られないた

ラッキーカラー：ダークグレー
ラッキーアイテム：アロマオイル
ラッキーフード：パクチーのスープ

◆ 今月の強運の日 ◆
9/14、23、24、10/2、3 は運
勢が強い。
特に、10/3 の運勢は盛大。

◆ 日盤鑑定者からひとこと ◆
積極的に出逢いの場へ。
偶然のめぐり合わせが面白い世界
を味わわせてくれる。

め、今年度での卒業が難しい。

それでも妻は走った。そして、先

生に何とかお願ひして、「特別な事情」について情状酌量の余地をいただくことができた。もちろん、スクーリングでの評価は厳しくなるだろうが、可能性が全くではないのが救いだ（実際に単位が取れるかどうかは、今の段階では分からない）。

こうした驚くばかりのひと月を過ごし、六白金星は交感神経優位になってしまっている。だけど、「味わう」というのは、副交感神経がメイインで働くなければならない。つまり、静かで穏やかな精神でなければ、成果の果実を味わうなんてことはできないのである。

六白金星はなかなかファイティングポーズを崩せない。戦いの場においては、一瞬の隙が命取りになる。その生命に「闘争」の意を宿して生まれてきた以上、これはいかんともしがたい習性なのだと思う。

だけど、周りを見てみよう。今、周囲には六白金星とともに成果の果

実を味わいたい人が大勢集まってきた

ているではないか。フーッと大きく

息を吐いて、肩の力を抜いてみて欲しい。それまで原色ばかりに見えていた景色が、柔らかいパステルカラーに包まれているということに気づけるはずだ。

世界は思っていたより、ずっと優しかった。ここ数ヶ月の苦境は、六白金星から柔らかな彩りを奪つてしまっていたのだ。ここはゆっくりしてもらおう。六白金星を攻撃しようとする人はいないのだから、金局三合を引っ張るリーダーなのだから、「自分が豊かになつて、はじめて皆も豊かになる」という自覚をもろそろ持つて良いと思う。

六白金星は「ビシッ！」としている。今日は金局三合の「旺」である。今月の金局三合の働きは、六白金星が「誰かにかかっている。

最近は経験していないが、かつて

僕は勤めていた会社のマネージャーをしていたために、社外の人と会う機会が多くつた。上司一人と部下二

名で来社されることが多かつたけれど、三名分お茶とお菓子を出しても、

上司が手を付けなければ、部下も食べられない。夏場は営業の方も汗だくで来ることが多かったから、皆、喉も乾いているだろうに、上司が口

角泡を飛ばして話に夢中になつていたら、部下もまたひたすらに黙つて聞いているしかない。

今月の六白金星は、誰よりも先に「いただきます」を言わねばならない。「旺」とは「王」なのである。金局三合を引っ張るリーダーのだから、「自分が豊かになつて、はじめて皆も豊かになる」という自覚をもろそろ持つて良いと思う。

仕事を誰かにバトンタッチするときは、「これで誰かを幸せにしてくればならないのだと思う。

もセミナーなどでは「どんどん教えてくださいな」と言うけれど、それは気学の智慧があちらからそちらへ

と広がるときに、必ず幸せの輪も広がっていくと信じているからだ。

七赤金星は「説」である。「兌すなわち「よろこび」を言葉に乗せて。今月の六白金星は歩くパワースポットになろう。行く先、行く先で

まさに今月の六白金星のためにあるような歌詞だ。今月は六白金星が笑うほど、周りは幸せになる。六白金星が笑うのだと確信を持って生きたい。

うほど、周りは幸せになる。六白金星が笑つていれば、すべては良くな

るのだ。

仕事をするときも笑顔で。仕事は確かにクオリティの管理などで厳し

く必要なのだけれど、本質的には「誰かを幸せにする」ことが目的で

ある。幸せの対価として代金をいただくのである。だとしたら、幸せを与える側が、まず誰よりも幸せでなければならぬのだと思う。

仕事を誰かにバトンタッチするときは、「これで誰かを幸せにしてく

れよ」という想いも乗せるのだ。僕

もセミナーなどでは「どんどん教え

てくださいな」と言うけれど、それ

は氣学の智慧があちらからそちらへ

と広がるときに、必ず幸せの輪も広がっていくと信じているからだ。

七赤金星は「説」である。「兌すなわち「よろこび」を言葉に乗せて。今月の六白金星は歩くパワースポットになろう。行く先、行く先で

幸運を配つて歩こう。私は幸せの王

なのだと確信を持って生きたい。

年盤は四緑木星

また、西には年盤上、四緑木星がいる。四緑木星は整いである。月の全体運のところでも少し触れたけれど、四緑木星は「斎う」であり「平らか」である。精神の整いというは、感情の起伏が少ないことである。ということは、今月の六白金星は西廻座と相まって、かなり静かな精神状態を保たねばならない。

今月は自分が、または周囲が「少し足りない」ような事態が起ころる。そういう不足を指摘し、責めるのは六白金星にとって簡単なことだろ

う。だけど、今月はそれでは運勢が崩れるばかりだ。

今月求められるのは、阿弥陀如来もしくは弥勒菩薩のような静けさである。僕の母は真宗系列の保育園に勤めていた。そのため、僕もまたその保育園に通っていた。保育園では当たり前のように仏教童謡の「知つている」というものを皆で歌つていた。こういう教育が残っているのは

良いことだな、と思う。もちろん他の宗派でもそうした教育は残っているだろう、と信じたい。

さて、この「知つている」の歌詞を引用してみよう。

「ののさまは 口ではなんにもいわないが ぼくのしたこと 知つていい 知つて いる」

ののさまは 口ではなんにもいわないがあなたのしたこと 知つていい 知つて いる」

これだけの歌だが、見事に今月の六白金星の在り方を教えてくれているように思う。ののさま(=阿弥陀

仏)は何にも言わない。何にも言わなければ、あらゆることを見透かしている。子どもの頃は無邪気に歌つていたけれど、今読むとゾッとするような厳しさを持った歌だ。

口では何も言わないでいて、その実、全部知つていて、我々と一緒に泣いてくれるのが阿弥陀仏である。また、我々と一緒に喜んでくれるのもまた、阿弥陀仏である。

あなたの身近な誰かにとつての阿

弥陀仏になつてみよう。全部お見通

しであつても、何にも言わない決意を持つてみたい。六白金星はどうしても「言わなきや気が済まない」じゃないか。だけど、それが誰かを幸せにしてきたどうか。

もちろん、言わなきやいけないと

きもある。それは承知の上で、今月くらいは「ののさま」になつてみよう。孔子は「巧言令色鮮し仁」と言つた。言葉巧みに相手を動かそうとするのではなく、良いも悪いも静かに

知つて いる」

母、子でありたいのである。

また、何も言わないままに世の中を「平らか」にしていく。足らぬところがあれば、サッと手を出して補つてやればいい。はみ出たものもシレッと整えてやればいい。こうした生き方が、きっと評判を呼び、六白金星のとともにさらなる縁をもたらしてくれる。何にも言わないままに、六白金星の人生ステージは遠くまで広がっていくひと月だ。

八白土星には「変革」の意味がある。年度途中ではあるけれど、思わ

ぬ人事異動が周囲で発生するかもし

れない。また、取り組んでいたプロ

ジェクトの仕様が変更になり、急遽

ヘルプを求められるなんてこともあ

りそうだ。

こうした事態が起ころるのは、六白

金星の運勢が強い証拠。ここでもやはり「ののさま」であつて欲しい。

「どうしてこんなことになつてるんだ！」なんて怒鳴るのではなく、優

しくサッと手を差し伸べてみよう。

こうしているうちに、いつの間に

か自分自身の潜在能力は開発され、

いつそう人生は大きくなつていく。

親戚筋に何かしらの問題が起ころ

ることもありそうだ。病気などであれ

ば、すぐさま駆けつけよう。

八白土星が同会する

また、年盤上、六白金星が廻座する南には今月、八白土星が廻座する。これを同会と呼び、他動的な動きを類推する際に用いる。

最後に今月の六白金星を易卦で表現すれば「天風姤」という易卦になる。季節でいえば夏至の卦であり、日差しが強い中にあって、ときおり優しい風が吹くような、清々しいイメージの卦である。だけど、実際に読んでみるとなかなかどうして、清々しいどころか、「一人の女が五人の男を相手する」みたいな解説が加えられることが多く、むしろ「ドロドロやんけ」と言いたくなる卦だ。今月はもちろん西廻座であるから、こうした「ヤバい恋愛」には注意しておくべきだ。年頃の六白金星の女性は悪い男に遊ばれる可能性があるから、合コンなどには注意しておこう。幸い、僕の知っている六白金星の読者の女性は「遊ばれる」どころか「いてこましたる」と鼻息が荒い方が多そだから、さほど心配はしていないが…。

さて、まず、この卦は「姤は、女壮なり。用て女を取るなれ」とはじまる。すでに述べたように「女

壮ん」であって、五人の男を手玉にとる女傑だ。だから、「取る(=娶る)なれ」であって、男性の六白金星であれば、女難に注意となる。

ただ、本来であれば男と女は正しく結ばれれば素晴らしい未来をともに築くこともできるはずだ。だからこそ彖伝には「天地相い遇つて、品物咸く章らかなり」と述べられる。男女という陰陽が交わり結ばれることで世界はことごとく明るい光で包まれるというのである。だから、姤卦のときは吉凶中端というか、この気にいかに触れるかで吉凶というものが分かれるのである。

もし正しく今の状況に触れることができれば「剛中正に遇う」のであって「天下大いに行わる」のである。逆に正しく触れることができなければ、天下は大いに行われない。こうした難しいときを越えてこそ、人生は大きく開かれていくのであるから「姤の時義大いなるかな」なのだ。

易というのは本当に掴み所がない。もう少し分かりやすく書いて欲しいものだけど、その掴み所の無さがまことに象伝には「后以て命を施し四方に詰ぐ」とある。君主は命令を四方に告げる、というだけの文章だが、これもまた味わい深い。君主は命令を四方に告げる。それは当たり前のことだろう。ただ、彖伝と合わせて読むと、もう少し深みに入って解釈が進む。

「天地相い遇つて、品物咸く章らかなり。剛中正に遇う、天下大いに行わるるなり」なのだから、命令を下す君主はまず「天地」に「相い遇」わねばならない。そこには男女の、もしくは陰陽の、さらには君主と臣下との深い結び付きが必要なのである。「品物咸く章らかなり」とあるように、互いが互いの役割をはつきりと理解せねばならないのである。そういう強い相互理解と深い信頼関係を結ぶには、どうしても「邂逅」と呼ばれるような、奇跡的な出会いを果たさねばならない。

男女が友人から恋人に変わると

た向学心を掻き立てる。まあ、高嶺の花子さんと思つて付き合うしかないとんだろう。

象伝には「后以て命を施し四方に詰ぐ」とある。君主は命令を四方に告げる、というだけの文章だが、今はまだ味わい深い。

君主は命令を四方に告げる。それは当たり前のことだろう。ただ、彖伝と合わせて読むと、もう少し深みに入って解釈が進む。

「天地相い遇つて、品物咸く章らかなり。剛中正に遇う、天下大いに行わるるなり」なのだから、命令を下す君主はまず「天地」に「相い遇」わねばならない。そこには男女の、もしくは陰陽の、さらには君主と臣下との深い結び付きが必要なのである。「品物咸く章らかなり」とあるように、互いが互いの役割をはつきりと理解せねばならないのである。そういう強い相互理解と深い信頼関係を結ぶには、どうしても「邂逅」と呼ばれるような、奇跡的な出会いを果たさねばならない。

今月の恋愛運

恋愛運は好調。相手を責める気持ちを捨て、まずはこちらが心を開く。経済運も好調だ。収入が多い分、支出も増えるが、ケチらないこと。

今月の健康運

健康運はやや心配。食べ過ぎは要注意。用事は本当に掴み所がない。

ものだけど、その掴み所の無さがま

き、何かしらの奇跡的な出来事が存続する。君主と臣下の間にも、劉備と关羽、張飛が桃園の誓いを交わしたような、何かしらのイベントが開催される。

玄徳と关羽、張飛が桃園の誓いを交わしたような、何かしらのイベントが開催される。

日々の運勢

廣木 佑実

九月八日（月）

今週は運気低調。自分の正しさを振りかざしても、物事はうまく進まない。相容れない意見や出来事も「そういうこともあるよね」と一旦受け入れる姿勢が大切。

今日は問題が発生しそう。「こうすべき」の一言で片付けようとせず、相手の気持ちや背景を考慮した発言が状況を変える。

★ゴミ捨て

❖甘酒ゼリー

九月七日（日）

今月は人間関係が素晴らしい。偶然の出会いを大切にして、交流を広げていこう。

長い夏の暑さ疲れがピークを迎えるころ。今日は家事をササッと終えて、あとはのんびり。人と会うにもエネルギーが要る。出会いを楽しめるように、先月の忙しさで乱れた生活や体調面を整えておこう。

九月十日（水）

イレギュラーの連続。きちんとスケジュールをこなすことが遺伝子に組み込まれている六白金星にとっては狂おしい一日となりそうだ。愚痴を言つても仕方がない。得意の「きつちり」を連絡や手続きに向けよう。

「きつちり」を厳しい顔でせず、柔らかい表情で対応できたらバッチリ。

★歯磨き

❖チキン南蛮

九月十一日（木）

ミーティングに最適。意思疎通が図りやすいので、情報共有や意見交換はもちろんのこと、大事なことを話し合っておくと良いだろう。フランクな雰囲気のランチミーティングなうだ。

頭が冴える日。アイディアが豊富に浮かび、視点を変えた見方もできるから、デザインや企画を考えたり、難題に取り組むとよいだろう。

長時間の作業は集中力が続かず、脳も疲れやすくなる。時間を区切って気分転換すれば、緊張とリラック

ジを受けるかも。一人で考えていると思考がネガティブに偏るから、早めに誰かに話してみよう。相談が立て直りへの近道。

★目薬

❖茄子の田楽

九月十三日（土）

年配の女性や妻の依頼は最優先。細かい依頼や簡単な作業も快く引き受けよう。「そのくらい自分でやってよ」という言葉が脳裏に浮かんでも、口に出せば争いのもと。

六白金星の能力は高い。自分の「できる」は他人とは違う。頼られたら「おかげで能力が役立つ」と捉えよう。

疲れが出やすい金曜日。怠さを感じたら、ココアなどの温かい飲み物を少しづつ飲んで、気分を落ち着かせてから行動しよう。

九月十二日（金）

★はラッキーアクションやアイテム ❖はラッキーフード

★ミント香るバスソルト
❖わかめうどん

★菊のアレンジメント
❖栗ご飯

❖スイートポテト

★晴雨兼用傘
❖スイートポテト

うか。

★水回りのコーディング
❖カブのアンチヨビ焼き

九月十四日（日）

フットワークは軽やか。楽しそうなことが次々浮かんでくるけれど、一人で決めて一人で動きだすのはやめよう。それでは家族から「勝手だなあ」と呆れられてしまう。

自分の希望や計画があるなら、まずは相談。意見が食い違えば、相手の要望を受け入れながら調整していく。

九月十五日（月）

週前半に運勢の強さがある。成果につながる行動ができるよう、今日は心身のバランスを整えよう。自然の中での活動はリフレッシュ効果抜群。公園や森を散歩し、花を愛でたり風の音や鳥の囀りを聞こう。足元には注意。

敬老の日。いつも逢えない祖父母に電話で声を届けるのは吉。

★深夜ラジオ

❖抹茶ミルクプリン

九月十六日（火）

連休明けは「やる気を出さなきゃ！」と気負うほど、調子は上がらない。メールの返信、簡単な書類整理、連絡や報告など、軽めの仕事を淡々とこなすことが、スムーズに仕事に入るコツ。

中途半端な仕事を片付けるのもあり。完了の達成感とともに、次にやるべきことが明確になる。

★リカバリーウエア

❖五目炒飯

九月十七日（水）

今日は忙しくなる予測。バタバタしていると不注意なミスや失敗が起ころりやすい。問題が出ないよう、確認作業を怠らないこと。

そんな最中、上司から依頼や指示が飛んでくる。忙しくても不満顔はNG。困難は成長の糧と思って引き受けよう。辛いときに笑顔でいられる

★ヘアオイル

❖シーフードパスタ

九月十九日（金）

予定の変更や中止で調整に追われそうだ。準備してきたことはやり直しだけど、ガッカリしないこと。今日の出来事はプラスには働く。

すんなり進まないことで、無理に繋ぎ合わせたところの綻びや不足が見つかるかもしれない。正しいやり方で修正する機会と捉えていこう。

★高級時計

❖ほうれん草のソテー

九月二十一日（日）

体調は今ひとつ。不機嫌を態度に出せば、安心できるはずのお家を重苦しい雰囲気にしてしまう。自分の機嫌は自分でとる。睡眠、入浴、セルフケアなど試してみよう。

人との触れ合いが不思議と気持ち悪い。おしゃべりや勉強会への参加を考えよう。

★家系図

❖肉じゃが

九月十八日（木）

会話が大切。といつても話すのではなく、今日は聞き役に徹したい。聴くことは話すことより難しい。

沈黙が怖くて会話を埋めようとしたり、結論を急いで「こうすれば」とつい提案したくなるもの。しかし、焦らず、沈黙すら楽しむ姿勢が相手の内面を引き出し、信頼を築くのだ。

中途半端な仕事を片付けるのもあり。完了の達成感とともに、次にやるべきことが明確になる。

★高級時計

❖ほうれん草のソテー

九月二十日（土）

気分が明るい。今日はおしゃれな自分を演出してお出かけ。服装やメイク、ヘアスタイルは季節感を取り入れたコーデを考えよう。

イメチェンも大賛成。コンタクトを眼鏡に変えるだけでも印象は違う。大胆なイメチェンは美容師やデパートの店員など、プロのアドバイスを受けよう。

★ナチュラルメイク

❖肉詰めピーマン

★中心人物

★銀行ATM

❖厚焼き玉子

❖納豆のお焼き

65 月刊氣学 2025年9月号 六白金星の運勢

九月二十二日（月）

運気好調ながら祝日を挟む週。事前準備でモチベーションを維持しよう。

今日はコツコツ精神発動。六白金星は要領がいい星だけど、それを許さない仕事が回ってきそう。要領のよさは短期的に成果が出せても、長期戦に弱い。そんな盲点は愚直に取り組み続ける姿勢で払拭しよう。

今日はコツコツ精神発動。六白金星は要領がいい星だけど、それを許さない仕事が回ってきそう。要領のよさは短期的に成果が出せても、長期戦に弱い。そんな盲点は愚直に取り組み続ける姿勢で払拭しよう。

★トンネル

❖ 海鮮丼

九月二十三日（火）

秋はイベントが多い。近所でマルシェが催されていたら出かけよう。手作り雑貨や地産品の販売、親子で参加できるワークショップや音楽ライブなど、家族で楽しむにはもってこいだ。

騒がしさより心をフラットにと望むなら、墓参りや実家に出向いて自分のルーツに触れてみよう。

★横丁

❖ おはぎ

九月二十四日（水）

遠方からの電話やメール、来客は運気に乗っている証拠。判断力は優れている。会話中のキーワードをメモをとり、提案に活かしていこう。

ときにクレームが入る可能性がある。お詫びと誠実な対応はマスト。冷静に、時間をかけて取り組みながら、相手との信頼関係を取り戻そう。

今日はコツコツ精神発動。六白金星は要領がいい星だけど、それを許さない仕事が回ってきそう。要領のよさは短期的に成果が出せても、長期戦に弱い。そんな盲点は愚直に取り組み続ける姿勢で払拭しよう。

★ガソリンスタンドの看板

❖ 水菜と豆腐の梅じやこサラダ

九月二十五日（木）

周りで起きていることを把握する力はピカイチ。同僚やチームメンバーの発言や表情、仕事の進捗状況などを的確に捉えることができるの

秋はイベントが多い。近所でマルシェが催されていたら出かけよう。手作り雑貨や地産品の販売、親子で参加できるワークショップや音楽ライブなど、家族で楽しむにはもってこいだ。

騒がしさより心をフラットにと望むなら、墓参りや実家に出向いて自分のルーツに触れてみよう。

★シオカラトンボ

❖ スープカレー

九月二十六日（金）

やる気満々。大きな仕事の依頼にも意欲的に取り組むことができそうだ。最後まで責任をもつてやり遂げよう。

一生懸命は良いけれど、「こだわり」が過ぎれば引き受けた仕事が滞る。納期遅れという六白金星にどうして不名誉な事態を招かないよう、全体を見渡す視点を忘れずに。

一生懸命は良いけれど、「こだわり」が過ぎれば引き受けた仕事が滞る。納期遅れという六白金星にどうして不名誉な事態を招かないよう、全体を見渡す視点を忘れずに。

★泥パック

❖ ヨーグルトスフレケーキ

九月二十七日（土）

秋の味覚を味わおう。外食が運気を上げる日。特に父親や夫との食事は大吉だ。

秋はイベントが多い。近所でマルシェが催されていたら出かけよう。手作り雑貨や地産品の販売、親子で参加できるワークショップや音楽ライブなど、家族で楽しむにはもってこいだ。

騒がしさより心をフラットにと望むなら、墓参りや実家に出向いて自分のルーツに触れてみよう。

★スポーツショップ

❖ どんかつ

九月二十八日（日）

模様替えは吉。玄関やテレビボー ドなどの目立つところに秋モチーフの小物を飾ったり、秋草を生けたり、ファブリックを暖色系にして秋っぽくお部屋を変身させよう。

居心地のよい空間ができるたらティータイム。短い秋、読書や趣味をしながらゆっくり季節感を味わうのはいかが。

居心地のよい空間ができるたらティータイム。短い秋、読書や趣味をしながらゆっくり季節感を味わうのはいかが。

★刃物研ぎ

❖ 茶碗蒸し

九月二十九日（月）

今週は周りの様子を理解する力が優れている。仕事の問題点や課題もすばやく把握できるから、その力を分析や対処法を考えることに役立てよう。

日常生活でゆっくり話をする機会がない人も、食事の間ぐらには相手の話に耳を傾けることができるはず。些細な出来事から貴重な話まで、お互いの考えを知る機会。共通の話題が増えれば会話も増す。

★階段を使う

❖ ミートパイ

九月三十日（火）

やる気が出ない。そんなときはうつかりミスに注意。自分で確認を行っても、提出前に同僚や上司にもチェックをお願いしよう。

やる気のなさは脳疲労かも。過去の出来事や未来のことをグルグル考え続けていると脳が疲れてしまう。瞑想で短時間でも思考を止めて、脳を休ませよう。

★家族の写真
❖パエリア

十月一日（水）

細かな仕事を次々任される。手付かずのまま放置すれば精神的な負担が増す。不安でいるより、すぐに片付くタスクはその場で処理するのが得策だ。

作業は丁寧に。細部にも目を向け手間をかけば仕事の質が高まる。どんな仕事も変わらぬ態度でやり通す姿勢は周囲に安心感を与える。

★プリーツスカート

❖レンコンのきんぴら

十月二日（木）

六白金星を求める声が響く。電話、打ち合わせ、営業、そして指示を仰ぐ部下からの連絡。その声に応じて忙しく動くことになりそうだ。

気をつけたいのはノリで話を進めないこと。曖昧な約束や安請け合いは信用を損うことになる。相手の要望を入念に確認し、行き違いのないように。

★マグカップ
❖ピザ

十月三日（金）

現状に風を吹き込もう。商圈外の会社に営業をかけ、依頼が途切れている顧客に商品の提案を試みよう。無理と諦めていたところにチャンスの芽がある。

異業種交流やセミナーへの参加も良い。ジャンルを超えた情報が刺激となる。不快な情報や人物さえ斬新なアイディアのタネかも。

★瞑想音楽

❖サーモンのレモンマリネ

十月四日（土）

掃除が開運行動。天候が穏やかな時季、窓を開け放して作業しよう。これからはホコリやカビが発生しない。家の空気が淀まないよう窓と換気扇を念入りに掃除。空気の流れが整えば、健康トラブルも防いでくれる。

誘いがあれば外出するのも良い。新しい交流が生まれるかも。

★月下美人
❖サバの燻製

十月五日（日）

屋外活動に最適。サイクリングやアウトドアで大自然と触れ合おう。ゴルフもおすすめ。上司や目上からのお誘いなら積極的に参加したい。重鎮、大御所と呼ばれる人物とお付き合いする機会に恵まれるかも。

予期せぬことが起こりそう。未来はいつも不透明。自分の意志や努力とは関係なく、事態が動くことは多い。そこで変えることができるのは自分の対応だけだ。

★ダイヤモンド
❖小籠包

十月七日（火）

予想外が起きる度に問題を解決する機会が増えて、対応の切れ味が鋭さを増す。変化は進化。想定外を喜んで受け入れよう。

★害虫駆除

❖チーズガレット

十月六日（月）

今週は意見の対立や口論に注意。批判を抑えて笑顔で過ごそう。今日はコミュニケーションを積極的に。会話不足の自覚がある人は、情報を共有や確認を行って、連携のとれる状態にしておこう。重要な事項や緊急時の対応が速やかなら、信頼度も上がる。特に上司との連絡は密が◎。

★金木犀
❖鶏キムチ